

創業者出身地への学生派遣プログラム 2013

東京・明治大学での事前学習（3地域共通プログラム）

派遣学生への事前説明会及びグループワーク（6月15日）

開催の趣旨、意義を確認。鳥取県、山形県天童市及び福井県鯖江市から担当者をお招きし、各自治体の魅力や抱える課題について出張レクチャーをしていただきました。

終了後、早速、学生たちはグループワークを開始。レクチャーを受けての発見、興味を持ったこと、調査してみたいことなどについて、長時間にわたって意見を交わしました。



ファシリテーション研修（7月6日・13日）

学生派遣プログラムでは、現地の自治体職員、地場産業に携わる人々など地域住民との交流・調査・取材を通し「地域活性化への提言」を行います。明治大学専門職大学院ガバナンス研究科・源由理子教授を講師に行った*ファシリテーション研修では、8月上旬からのフィールドワークに向け、議論の進め方やコミュニケーションの取り方などについて、演習を交え学習しました。

この研修には、明治大学生と共にプログラムに臨む鳥取環境大学生が明治大学に来校、同じく鳥取大学生もTV会議システムを利用し参加しました。

*「ファシリテーション」とは、

ものごとが円滑に進行するよう促す行為・技術・方法。会議等のマネジメント技法として用いられる。

